

2018 年度

# 日本キリスト教文学会中国支部大会

日時:2018年12月22日(土) 12:30~18:30

場所:ノートルダム清心女子大学

キリスト教文化研究所セミナー室 (中央棟6階)

☆☆☆☆☆ プログラム ☆☆☆☆☆

〈1. 総会〉

〈2. 研究発表〉

1 河原田 有香 (神戸松蔭女子学院大学大学院生)

Elizabeth Gskell 「一時代前の物語」における女性の生き方と幸福

2 余 盼盼 (広島大学大学院生)

遠藤周作『死海のほとり』論 — 〈痕跡〉のモチーフについて—

3 倪 楽飛 (広島大学大学院生)

遠藤周作文学における〈顔〉—他者への通路として—

4 大岡 愛梨沙 (ノートルダム清心女子大学大学院生)

村上春樹『海辺のカフカ』論

— 「原罪」からの救済としての「風の音を聞く」ことについて—

5 阿部 翔太 (広島大学大学院生)

世界の「終り」から「始まり」へ

— 村上春樹『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』論

日本キリスト教文学会中国支部事務局

〒700-8516 岡山市北区伊福町 2-16-9

ノートルダム清心女子大学

山根知子研究室内(086-252-2695)

e-mail:t-yama@post.ndsu.ac.jp